

週刊 議会報告

日本共産党市議会議員団

第一回しまなみ海道特別委員会開催 -岡野長寿市議が委員会の任務について提案発言-

〔しまなみ海道委員会〕

- ◎福原謙二（公明党）
 - 松原正待（市民連合）
 - 岡野長寿（共産党）
 - 村井温子（潮風おのみち会）
 - 高本訓司（青嵐会）
 - 新地貴史（新誠会）
 - 冠 匡晃（参政党）
 - 佐藤志行（平成会）
 - 土屋咲子（木曜会）

岡野委員は、「福祉施策として本人の通院・通所にかかる交通費、洗濯物などをもつて行く介助者などにも補助をひろげること。また公共交通の問題として、平日の料金負担を土日並みに市独自に引き下げる。予算規模は1億円程度を見込むべき」

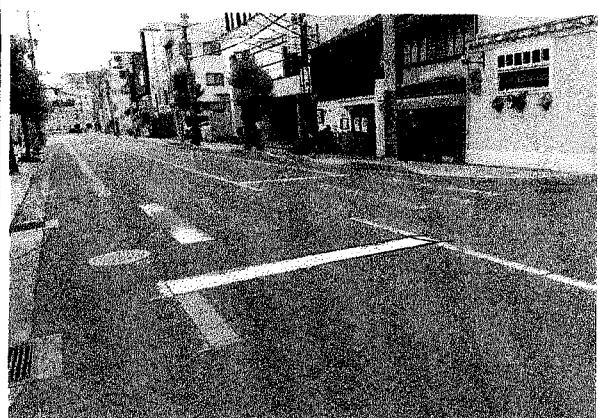
福原委員長は「4月の市長選、市議選でしまなみ海道の軽減が大きな課題であることが浮き彫りになつた。具体的な軽減策を行いたい」と述べ、各委員の発言を求めました。

発言したのは、岡野、高本、

来年度予算案に反映されるよう11月初旬までには委員会の提言をまとめたい(福原委員長)

7月4日午前11時からしまなみ海道通行料金等調査特別委員会が開かれ、共産党からは岡野市議が出席し発言しました。

欠席した佐藤委員を除き、出席した全会派が来年度予算に具体的な軽減策を盛り込めるようがんばりたいという点で一致できたことは重要です。



気になればすぐにでもできる」とだ。料金軽減の具体化を急ぐためにがんばりたい」と決意を述べました。また、「高齢者優待乗車証をしまなみに使えるようにという改善策も考へるべきだ

高本委員は、一市議選をとおして橋代の軽減が一番重要な課題であることを感じた。橋を作ることにはいくら高くても架けて欲しいという状況があつたが、その時代、その時代の課題を先に課題として解決してきた。国

まとめたい（福原委員長）
と発言しました。

発行
日本共産党市議団
岡野長寿
0845-22-2596
魚谷さとる
0848-22-2810

総務産業委員会で
魚谷市議が質疑

生活していきたいとが 国保料滞納者への対応

当課長は、資格

6月議会の総務産業委員会では、委員である魚谷市議が国民健康保険料の収納状況や、滞納者に発行される資格証・短期証について質問しました。

担当である収納課長は収納率について、令和3年が96.4%、令和4年が96.3%であると答えました。

続いて魚谷市議は、滞納者に発行される資格証や短期保険証について質問。担

| 項目 | 資格証 | 短期証 |
|------|-----|-----|
| 令和3年 | 54 | 834 |
| 令和4年 | 55 | 818 |

※資格証は、受診時10割支払い、手手続きをして7割返還を受ける
※短期証は、一年でなく期間を短期(例3・日)に限って発行される

このことも紹介しながら、魚谷委員は、国保料の滞納者への対応として、生活して行けることを基本にして、節約して払えるだけ払つてもらうという対応などを確認しました。

担当課長は、そのような考え方で滞納者に対応していると答えました。

ために塗り替えることはほとんど消えている状況になると述べました。担当課長は年間25件程度であると答えましたが、魚谷委員は少なすぎるのではと指摘。市職員の協力を得て、通勤時に消えかかつた横断歩道がないかをチエツクしてはと提案。

また、関連して他の委員からも駅前の横断歩道が消えかかっている。尾道の町の印象が悪くなるのではないかと、注意喚起する意見も出されました。

4年が818件であると答
えました(左上表参照)。